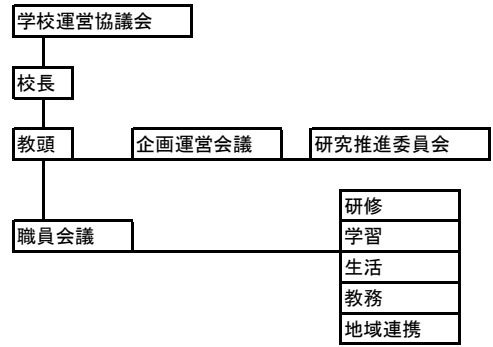


三重県亀山市	● 活動名	● 関係する学校名
	川崎小学校学校運営協議会	亀山市立川崎小学校

設置年度	平成 26 年度	学級数	18 学級	児童・生徒数	432 人
学校運営協議会の委員数	15 人	学校運営協議員の属性	川崎小学校PTA代表、川崎小学校学習ボランティア、地域代表、自治会連合会会長、まちづくり協議会会長、川崎小学校放課後子ども教室コーディネーター、川崎小学校放課後子ども教室指導者副代表、川崎小学校校長、川崎小学校教諭、名古屋大学大学院准教授、中部中学校校長、教育研究室主査		
地域学校協働本部との連携・協働体制の有無	無				
参考 URL	<a href="http://www.kameyama-mie.jp/~kblog/kawasaki/">http://www.kameyama-mie.jp/~kblog/kawasaki/</a>				

● 体制図



● 連絡先	亀山市立川崎小学校	☎ 0595-85-0108
-------	-----------	----------------

● 活動の概要・経緯

「地域の中で、みんなで生き生きと学ぶ川崎っ子の育成」を基本理念とし、子供を介して地域と学校が結び付き、理念の達成に向け各種活動を行っている。地域関連学習年間指導計画を定め、各学年が地域の方から学ぶ学習を計画的に進めている。地域活動室が校舎内に設けられ、学習ボランティアなどの地域人材が活動する場所が確保され、日常的な支援となっている。学校運営協議会の呼びかけにより、各種地域学習、体験活動などに多くの地域人材が関わっており、コミュニティスクールの果たす役割も大きい。

## ● 活動の特徴・工夫

### 【特徴的な活動内容】

①地域関連学習の年間指導計画（全学年）の作成と実践：年間指導計画に基づき、地域関連学習を進めている。地域の方から川崎の歴史、地域の未来への思いを聞いたり、フィールドワークやフレンドリー農園（学習園）の整備と栽培活動、稲刈り、昔遊び、ふれあいフェスタ（地域の祭）への参画をしたりする。②校舎内の地域活動室を地域の方が打ち合わせや休憩するスペースとして活用している。③日常的に学習支援を行ってもらう地域の方がおり、授業に参加し、子供に寄り添いながら、分かりにくいところを個別支援したり、④付けを行ったりしている。④フレンドリークラブという地域の方を講師に招いたクラブ活動を行っている。英語、尺八、洋菓子、竹細工、ソフトバレー、わらべ歌、茶道など、専門性を活かした内容となっている。⑤校舎の引っ越しに伴い、学校関係者だけでなく、地域住民が協力して引っ越しとお別れ集会を行った。

### 【実施にあたっての工夫】

各種行事では子供たちが地域の一員としての意識を感じられるよう、発表や準備などで参加するようにしている。地域の方々には、重機の操作や、ドローンによる風船の空撮、伝統芸能など、専門性や得意分野を活かしてもらえるようにしている。地域活動室を設置することで、地域の方の学校での居場所ができ、学習支援がしやすくなるようにした。

## ● 事業を実施しての効果・成果

学校運営協議会が主体となり各種呼びかけを行うなど学校と地域の方々をつなぐ役割を果たしている。地域関連学習年間指導計画や地域活動室があることで、継続的に地域の方が学校に参画してもらえるシステムができています。今年度の引っ越しでは、災害時などにも活かせるような地域の団結力が発揮された。川崎ふれあいフェスタに向けての準備や発表など子供の参画する姿勢が年々前向きになってきている。地域の方から学ぶことを楽しみにしている子供や地域に愛着を感じている子供が多い。



旧校舎お別れ集会



能褒野開拓団から学ぼう

ポイント

学校運営協議会が、コーディネート機能を果たし、地域連携を可能にしていると思います。地域活動室など、環境が整っているのも良いですね。